

ふらの市移住促進協議会 平成24年度活動報告書

富良野への移住を促進する取り組みについて



平成25年5月
ふらの市移住促進協議会

目 次

■平成24年度事業計画の概要	2
■組織の概要	4
■平成24年度事業実績	
○移住促進に係る周知活動の実施	
（1）首都圏等プロモーション活動の実施	7
（2）ホームページ更新・運営管理	11
（3）移住協通信の発行	12
○移住促進に係る各種事業の推進	
（1）移住体験モニターツアーの企画・実施	12
（2）ふらの移住体験事業（お試し暮らし住宅）の実施	13
（3）講演会の開催	15
（4）空き家等の情報収集及び提供	15
（5）就労に関する情報の拡充	15
（6）移住者に対するフォローアップ	15
○各種会議開催状況	
（1）ふらの市移住促進協議会総会の開催	16
（2）幹事会の開催	16
（3）移住促進作業チーム	16
■移住実績	17
■移住相談集計結果	18
■参考資料	
○新聞記事	19
○移住協通信	25

平成24年度事業計画の概要

移住促進に係るPR活動の実施

(1) 首都圏等プロモーション活動の実施

首都圏等で開催されるイベントに積極的に参加し、富良野市への移住促進に向けた移住相談等を実施する。

◇北海道フェア in 東京 ◇北海道フェア in 大阪

(2) ホームページ更新・運営管理

◇ホームページの更新を行う。

(3) 移住協通信の定期発行

協議会の取り組みを紹介、移住相談・お試し暮らし住宅の状況、連絡事項等を記載し、協議会会員にメール等で送付、ふらの市移住促進協議会HPにて公開

移住促進に係る各種活動の推進

(1) 移住体験モニターツアーの企画・実施

富良野での生活体験ができるモニターツアーなどのイベントを企画・実施する。

また、ツアー参加者による富良野生活をブログ等を利用し、情報を発信してもらう。

さらに、ツアー終了後に追跡アンケートを行い、実際に体験したうえでの移住の対するニーズを把握する。

(2) ふらの移住体験事業（お試し暮らし住宅）の実施

◇市実施のお試し暮らし住宅のホームページ公表

◇民間実施のお試し暮らし住宅のホームページ公表

(3) 着地型・体験型観光から長期滞在・移住へとつなげる取り組み

富良野市の地域資源である豊かな自然と農作物を利用した、着地型・体験型観光の取り組みが行われている中で、着地型・体験型観光から二地域居住へとつなげる取り組みを行う。

(4) 講演会の開催

移住に関する講師による、富良野市全体の移住に対する意識向上のため、富良野市民を対象にした講演会を企画・実施する。

(5) 空き家等の情報収集及び提供

農村地域をはじめ市内にある未活用となっている空き家等の情報収集を行い、移住者への住宅情報の充実を図る。

(6) 就労に関する情報の拡充

移住者に対し、ハローワークでの求人情報の提供に加え、市内における起業や空き店舗、就農など、就労に向けた情報の拡充を図る。更に、市内関係団体と連携し、さらなる情報の拡充に努める。

(7) 移住者に対するフォローアップ

1. 移住者との意見交換会の開催

移住・定住者との意見交換会等を開催する。

2. 移住者ネットワークの構築

各種団体と連携し、移住者間における、サポート体制・情報交換の場を構築する。

3. 移住サポーター制度の確立。

現在、富良野市で生活をしている移住経験者、または、その移住者が経営されている飲食店等を移住サポーターとして登録し、これまで自分が経験してきた体験・課題等をもとに、移住者に対して、協議会と連携しアドバイスをしてもらう。

また、登録されたサポーターの情報を公開し、移住者が安心して相談することができる環境をつくる。

各種会議開催状況

(1) 会議の開催

- ①総会の開催
- ②幹事会の開催
- ③移住促進作業チームの開催

(2) 関係団体との連絡調整

北海道移住促進協議会、NPO 法人「住んでみたい北海道」推進会議

組織の概要

- 名 称 ふらの市移住促進協議会
- 代表者 富良野市長 能 登 芳 昭
- 設 立 平成21年5月21日
- 事務局 〒076-8555 富良野市弥生町1番1号
富良野市総務部企画振興課内
電話 0167-39-2304 FAX 0167-23-2121
- 目 的 富良野市への移住希望者を対象として、民間団体と市が連携・協力し、富良野市への移住の促をすることにより、地域振興を図ることを目的とする。
- 協議会会員

構成団体

富良野市、ふらの農業協同組合、富良野商工会議所、山部商工会、ふらの観光協会
富良野建設業協会、北海道宅地建物取引業協会旭川支部富良野分区

会員事業所 平成24年度 27事業所

(株)アーキスト	(株)扇商連 (サンエービルド工業)	富良野ホテル・ベルヒルズ
旭川信用金庫 富良野支店	鶴 Apartment	(有)フラワーブティック エハラ
(株)FB ふらのバーガー	てっぱん・お好み焼き まさ屋	(株)プリンスホテル 新富良野プリンスホテル
(株)亀屋斉藤商店	(株)那知組	ペンション ピノキオ
(株)軽米組	西出装飾	(株)北菱
(株)菊田建設	(株)ニュー富良野ホテル	北海道ホテル&リゾート(株) ホテルナトゥールヴァルト富良野
北の宿 望峰	ヒーリングポイント 宙に感謝	(株)ゆあさ
(株)コダマ	(株)富良野タクシー	(株)吉田塗装店
(株)佐藤建業	富良野地方卸売市場(株)	(株)ラジオふらの

(50音順)

■ふらの市移住促進協議会規約

（名 称）

第1条 本会は、ふらの市移住促進協議会（以下「協議会」という。）と称する。

（目 的）

第2条 協議会は富良野市への移住希望者を対象として、民間団体と市が連携・協力し、富良野市への移住の促進することにより、地域振興を図ることを目的とする。

（事 業）

第3条 協議会の主な事業は、次のとおりとする。

- （1）移住促進に係るPR活動の実施
- （2）移住促進に係る各種事業の推進
- （3）その他 移住促進のために必要な取組

（組 織）

第4条 協議会は、富良野市、ふらの農業協同組合、富良野商工会議所、山部商工会、ふらの観光協会、富良野建設業協会、北海道宅地建物取引業協会旭川支部富良野分区、及び協議会の趣旨に賛同する各団体の構成員をもって組織する。

（役員及び職務）

第5条 協議会に、次の役員を置く。

- （1）会 長 1 名
- （2）副会長 1 名
- （3）理 事 4 名
- （4）監 事 1 名

2 役員は、協議会において選任する。

3 役員任期は2年とし、再任を妨げない。ただし、補欠の役員任期は、前任者の残任期間とする。

4 会長は、協議会を代表し、会務を総理する。

5 副会長は、会長を補佐し、会長に事故があるときは、その職務を代理する。

6 理事は、協議会の主要事項の審議並びに会務の運営にあたる。

7 監事は、会計を監査する。

（会 議）

第6条 協議会の会議は、会長が必要と認めたときに招集し、開催する。

（会 計）

第7条 協議会の経費は、会費、その他収入をもってこれに充てる。

2 協議会の会計年度は4月1日から翌年の3月31日までとする。ただし、設立年度については、施行日から翌年の3月31日までとする。

（幹事会）

第8条 協議会の事業が円滑に運営できるように企画立案し、関係団体実務担当者相互の連携協調を図ることを目的として幹事会を置く。

(事務局)

第9条 協議会の事務局は、富良野市役所総務部企画振興課に置く。

(委任)

第10条 この規約に定めるもののほか、協議会の運営に関し、必要な事項は、会長が協議会に諮って定める。

附 則

この規約は、平成21年5月21日から施行する。

【役員】

(任期：平成23年度～平成24年度)

職 名		構 成 団 体
会 長	能 登 芳 昭	富良野市長
副会長	上 田 勉	北海道宅地建物取引業協会旭川支部富良野分区長
理 事	村 山 友 希	ふらの農業協同組合代表理事組合長
理 事	荒 木 毅	富良野商工会議所会頭
理 事	平 賀 周 一	山部商工会会長
理 事	松 井 敬 一	ふらの観光協会会長
監 事	平 沢 幸 雄	富良野建設業協会会長

移住促進に係る周知活動の実施

(1) 首都圏等プロモーション活動の実施

○北海道暮らしフェア in 東京・北海道暮らしフェア in 大阪への参加

■目的

子育て世代・団塊世代等に広がりを見せる「第二の故郷探し」の胎動を踏まえ、北海道への移住・交流を促進するため、首都圏において富良野市ならではの魅力と「お試し暮らし」をはじめとした、富良野市へ移住に関する情報等を、積極的にアピールするフェアに参加し、富良野市の生活・暮らしを身近に知ってもらい、交流・定住人口の増加を通じた地域活性化を目指す。

■主催

- ◇北海道暮らし・フェア in 東京 北海道・NPO 法人住んでみたい北海道推進会議
- ◇北海道暮らし・フェア in 大阪 北海道・NPO 法人住んでみたい北海道推進会議

■開催日時

- ◇北海道暮らし・フェア in 大阪：平成24年 9月30日（日）10:00～16:30
- ◇北海道暮らし・フェア in 東京：平成24年 11月10日（土）10:00～16:30

■会場



■入場者数

- ◇北海道暮らし・フェア in 大阪 550人（富良野来場者28組）
- ◇北海道暮らし・フェア in 東京 1,300人（富良野来場者37組）

■ 会場の様子

◇ 北海道暮らし・フェア in 大阪



◇ 北海道暮らし・フェア in 東京



■アンケート集計結果

Q1 北海道に移住するとしたら、どのような点をどの程度優先しますか？

		大阪	東京
1. 日常生活に不便が無いこと	最優先したい	22.2%	13.3%
	優先的に考えたい	51.9%	40.0%
	こだわらない	7.4%	13.3%
	無回答	18.5%	33.3%
2. 自然が豊かであること	最優先したい	44.4%	40.0%
	優先的に考えたい	37.0%	26.7%
	こだわらない	7.4%	0.0%
	無回答	11.1%	33.3%
3. 仕事があること	最優先したい	18.5%	20.0%
	優先的に考えたい	14.8%	20.0%
	こだわらない	51.9%	26.7%
	無回答	14.8%	33.3%
4. 移住者の支援制度があること	最優先したい	11.1%	6.7%
	優先的に考えたい	40.7%	26.7%
	こだわらない	33.3%	20.0%
	無回答	14.8%	46.7%
5. 不動産の価格が安いこと	最優先したい	11.1%	6.7%
	優先的に考えたい	37.0%	46.7%
	こだわらない	29.6%	0.0%
	無回答	22.2%	46.7%
6. 医療・福祉体制	最優先したい	18.5%	6.7%
	優先的に考えたい	55.6%	40.0%
	こだわらない	11.1%	20.0%
	無回答	14.8%	33.3%

Q2 富良野市に移住するとしたら、どのような形態を希望しますか？

	大阪	東京
完全移住	26.7%	44.4%
二地域居住	16.7%	0.0%
シーズンステイ	43.3%	27.8%
無回答	13.3%	27.8%

Q3 富良野市に移住するとしたら、住宅はどのような形態を希望しますか？

	大阪	東京
一戸建て住宅（賃貸）	35.5%	26.3%
一戸建て住宅（売買）	12.9%	0.0%
アパート（賃貸）	29.0%	31.6%
無回答	22.6%	42.1%

Q4 富良野市の移住に関する情報は、どこから入手しましたか？

	大阪	東京
北海道移住促進協議会ホームページ	25.0%	25.0%
富良野市公式ホームページ	6.3%	12.5%
ふらの市移住促進協議会ホームページ	9.4%	0.0%
協議会ブログ「ふらのに住んだらイイジャナイカ♪」	3.1%	0.0%
移住情報誌	9.4%	0.0%
その他ホームページ	0.0%	0.0%
その他	28.1%	12.5%
無回答	18.8%	50.0%

Q5 富良野市にお越しになったことはありますか？

	大阪	東京
ある	85.2%	66.7%
ない	7.4%	0.0%
無回答	7.4%	33.3%

Q6 北海道への移住を考えたとき、富良野市はその候補地として対象になりますか？

	大阪	東京
なる	63.0%	60.0%
ならない	3.7%	0.0%
何とも言えない（わからない）	25.9%	6.7%
無回答	7.4%	33.3%

Q7 ホテルやペンションを利用した、5日～1週間程度の旅行商品があったら利用しますか？

	大阪	東京
はい	64.3%	40.0%
いいえ	17.9%	6.7%
無回答	17.9%	53.3%

Q8 アンケート回答者の年齢構成

	大阪	東京
20歳代	3.7%	6.7%
30歳代	11.1%	6.7%
40歳代	18.5%	20.0%
50歳代	18.5%	6.7%
60歳代以上	48.1%	60.0%
無回答	0.0%	0.0%

(2) ホームページ企画立案・運営管理

■ホームページ (<http://www.iju.furano.jp>)



ホームページトップ画面

◇アクセス件数
 平成24年4月～平成25年3月
 35,507 アクセス
 月平均約 2,959 アクセス

■ブログ (<http://ameblo.jp/furano-ijusokushin/>)



ブログトップ画面

◇アクセス件数
 平成24年4月～平成25年3月
 67,513 アクセス
 月平均約 5,626 アクセス

■Facebook (ふらの市移住促進協議会)



Facebook トップ画面

◇アクセス件数
 平成25年3月末
 2,477 件
 (国内 2,284 件)
 (海外 193 件)

(4) 移住協通信の発行

協議会の取り組みの紹介、移住相談・お試し暮らし住宅の状況、連絡事項等を記載し、協議会会員にメール等で送付、ふらの市移住促進協議会HPにて公開。

◇第27号 (2012.6.15)

◇第28号 (2012.8.22)

◇第29号 (2013.1.16)



移住促進に係る各種事業の推進

(1) 移住体験モニターツアーの企画・実施

協議会が主催する「素のーライフ in ふらの」を企画・実施しました。富良野市へ移住を考えている方に対し、富良野生活を体験していただくことによって、移住をより具体的に検討してもらいました。また、滞在期間中にはブログによる情報発信をしていただき、モニターツアーに参加していない方にも、移住体験の疑似体験をしてもらいました。

◇開催期間 平成25年2月27日～3月2日(3泊4日)

◇ツアー参加者

世帯構成	住所
50代男性、40代女性	北海道札幌市
50代単身女性	神奈川県中郡二宮町
40代男性、30代女性	兵庫県神戸市
40代男性、30代女性	東京都墨田区錦糸
70代男性、70代男性	奈良県葛城市

◇オリエンテーションの様子



◇市内施設見学バスツアーの様子



◇移住体験モニターツアーブログのアクセス件数



(2) ぶらの移住体験事業（お試し暮らし住宅）の実施

■市実施のお試し暮らし住宅のホームページ公表

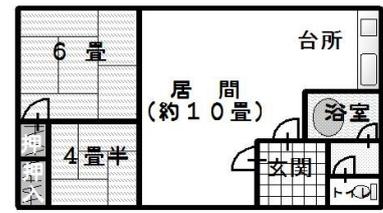
◇弥生住宅



外観



内装



間取り

◇東山住宅1号



外観



内装



2 F



間取り

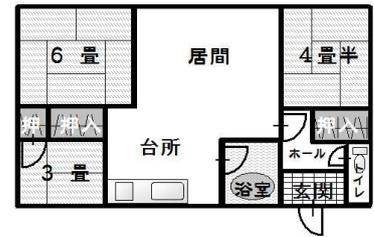
◇東山住宅2号



外観



内装



間取り

◇山部住宅（平成23年7月より入居募集開始）



外観



内装



間取り

◇平成24年度の利用状況

弥生住宅（5組10名）		東山住宅1号（4組8名）		東山住宅2号（4組8名）	
札幌市	60代夫婦	東京都	30代夫婦	千葉県	80代夫婦+子
愛知県	60代単身女性	奈良県	60代夫婦	青森県	40代夫婦
奈良県	60代夫婦	兵庫県	60代夫婦	兵庫県	70代夫婦
東京都	30代夫婦+子	帯広市	30代夫婦	東京都	50代単身男性
東京都	60代夫婦	山部住宅（4組9名）			
		札幌市	50代単身女性	東京都	30代夫婦+子
		東京都	60代単身女性	東京都	60代夫婦

■民間実施のお試し暮らし住宅のホームページ公表

◇株式会社北菱物件「アパルC」を公表



◇平成24年度の利用状況

アパルC（2組6名）	
大阪府	70代夫婦
オーストラリア	50代家族

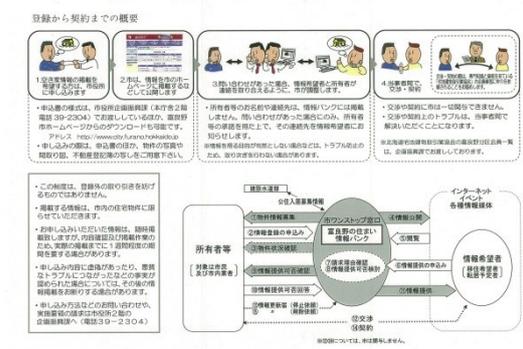
(3) 講演会の開催

- ◇開催日 2月5日(火) 15:00~17:00
- ◇場所 富良野文化会館2階中会議室
- ◇演題 「移住促進フォーラム」
「都市から地方へ！」～自然豊かなふらのへ・年金移住のススメ～
- ◇講師 (株)エフスタイル軽井沢 代表取締役 福田 英二 氏
- ◇参加者 一般市民47名



(4) 空き家の情報収集及び提供

市街地・農村地区において、未活用となっている空き家等の情報を収集。講演会や富良野市において開催された連合町内会長会議等において、チラシ等を配付し、情報提供の依頼を行った。



(5) 就労に関する情報の拡充

移住者に対し、ハローワークでの求人情報による情報提供。また、富良野市農林課等と連携し新規就農に対する情報提供を行った。さらには、富良野市経済部商工観光課主催の「就職応援フェア」と連携し、情報提供を行った。

(6) 移住者に対するフォローアップ

お試し暮らし住宅利用者と協議会会員において、交流を兼ねてパークゴルフ大会を開催。また、昼食を兼ねて意見交換会・各種情報提供を行う。さらに、ふらびズム協議会と協力し、意見交換会を開催。市内で活動している移住関係団体との情報交換や、移住者・定住者の情報の場を構築。移住サポーター制度確立に向け、移住者・移住希望者に対し目印となるのぼりを作成。

(1) 会議の開催

■ ぶらの市移住促進協議会総会

開催日 平成24年5月25日(金)

場所 富良野市役所大会議室

議事 報告第1号 平成23年度事業報告について

報告第2号 平成23年度収支決算について

議案第1号 平成24年度事業計画(案)について

議案第2号 平成24年度収支予算(案)について

■ 第1回幹事会

開催日 平成24年5月17日(木)

報告事項 ①お試し暮らし住宅の入居状況について

②平成23年4月～平成24年3月までの移住相談状況について

③移住状況について

協議事項 ①ぶらの市移住促進協議会平成24年度総会について

■ 移住促進作業チーム第1回会合

開催日 平成24年4月11日(水)

協議事項 ①移住体験モニターツアーについて

②平成23年度事業報告及び収支決算について

③平成24年度事業計画について

④平成24年度事業予算について

■ 移住促進作業チーム第2回会合

開催日 平成24年8月21日(火)

協議事項 ①北海道暮らしフェア inJAPAN について

②平成24年度事業について

■ 移住促進作業チーム第3回会合

開催日 平成24年11月22日(火)

協議事項 ①北海道暮らしフェア inJAPAN について

②平成24年度事業について

■ 移住促進作業チーム第4回会合

開催日 平成24年12月25日(火)

協議事項 ①富良野移住体験モニターツアーについて

②講演会の開催について

■ 移住促進作業チーム第5回会合

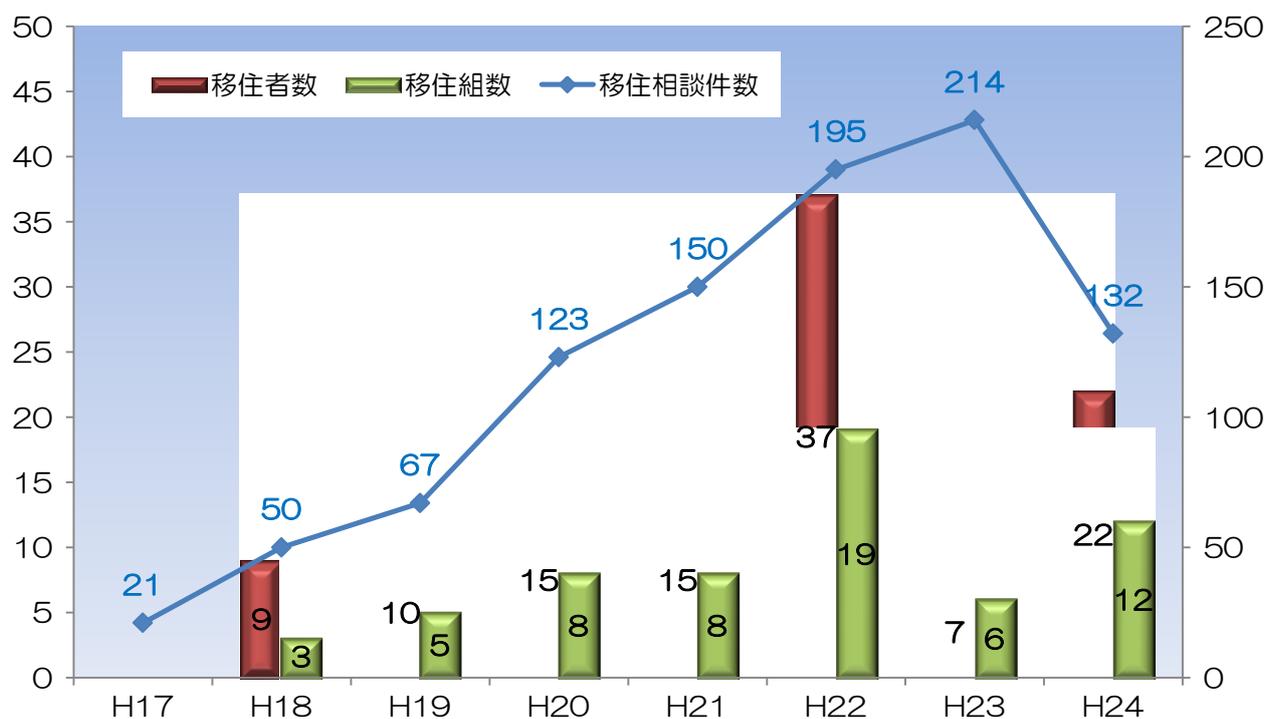
開催日 平成25年2月25日(月)

協議事項 ①移住体験モニターツアーについて

移住実績

■ 移住者数及び相談件数

	H17年 6月から	H18 年度	H19 年度	H20 年度	H21 年度	H22 年度	H23 年度	H24 年度	合計
移住者	0件	3組 9名	5組 10名	8組 15名	8組 15名	19組 37名	6組 7名	12組 22名	61組 115名
移住相談 件数	21件	50件	67件	123件	150件	195件	214件	132件	820件



■ 移住相談集計結果

移住相談集計結果

期間：2012/4/1～2013/3/31

単位：人

■ 全集計

総数	132	
1. 年齢	20～40代	55 41.7%
	50代	7 5.3%
	60代以上	12 9.1%
	不明	59 44.7%

2. 居住地	大区分	道内	59 44.7%
		道外	67 50.8%
		不明	6 4.5%
	地域	道内	58 43.9%
		東北	7 5.3%
		関東	27 20.5%
		信越北陸	4 3.0%
		東海	5 3.8%
		近畿	15 11.4%
		中国	3 2.3%
		四国	2 1.5%
		九州沖縄	
		国外	4 3.0%
不明	6 4.5%		

3. 構成	単身	31 23.5%
	夫婦	20 15.2%
	親子	14 10.6%
	複数世帯	1 0.8%
	不明	64 48.5%

4. 希望地	市街	44 33.3%
	市街周辺	5 3.8%
	郊外	11 8.3%
	不明	70 53.0%

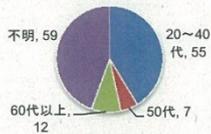
5. 希望形態	一般	32 24.2%
	自営	5 3.8%
	農的	7 5.3%
	自然志向	
	不明	86 65.2%

6. 相談内容	仕事	11 8.3%
	住居	69 52.3%
	土地	1 0.8%
	生活	11 8.3%
	その他	41 31.1%

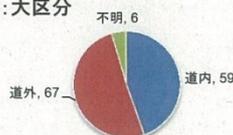
※相談時期	4～6月	27 20.5%
	7～9月	37 28.0%
	10～12月	36 27.3%
	1～3月	33 25.0%

移住者数	完全移住	12組 22人
	二地域移住	
	お試し暮らし	17組 33人

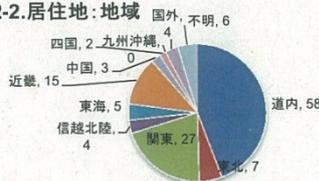
1. 年齢



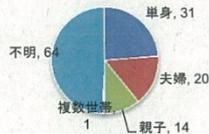
2-1. 居住地：大区分



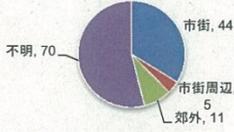
2-2. 居住地：地域



3. 構成



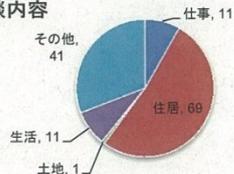
4. 希望地



5. 希望形態



6. 相談内容



H17 H18 H19 H20 H21 H22 H23

総数	21	50	67	123	150	195	214
20～40代	12	26	31	70	51	73	76
50代	3	8	9	15	18	21	10
60代以上	2	4	9	17	31	24	31
不明	4	12	17	20	50	77	97

道内	7	14	30	53	44	66	78
道外	13	33	35	57	94	114	125
不明	1	3	2	10	12	15	11
道内	7	14	30	53	44	66	78
東北				3	2	1	6
関東	6	20	14	27	42	53	65
信越北陸	1	1	1	1	3	3	4
東海				2	4	15	7
近畿	3	6	5	11	24	24	22
中国				1	1	3	4
四国	1	3	1		1	2	1
九州沖縄	2			3	6	2	9
国外						1	6
不明	1	3	5	13	11	15	15

単身	2	8	13	34	39	42	48
夫婦	5	12	15	27	37	43	40
親子	3	15	9	18	16	26	32
複数世帯	1		1			4	7
不明	10	15	26	42	58	80	87

市街	16	25	40	70	38	56	57
市街周辺		6	8	10	5	9	12
郊外	4	4	14	21	17	20	11
不明	1	15	5	22	90	110	134

一般	19	30	46	71	32	40	59
自営	2	5	12	6	4	10	8
農的		6	2	4	7	5	9
自然志向		1		12	5	6	2
不明		8	7	30	102	134	136

仕事	9	18	8	23	25	23	27
住居	15	35	40	87	85	103	121
土地	2	7	7	13	14	9	12
生活	7	10	6	20	17	17	18
その他		22	21	28	26	71	78

4～6月	1	16	9	20	39	31	79
7～9月	6	14	14	31	38	58	65
10～12月	6	10	22	24	38	54	29
1～3月	8	10	22	48	35	52	41

完全移住	3組	5組	6組	7組	17組	6組	
	9人	10人	13人	13人	33人	7人	
二地域移住			2組	1組	1組	4組	
			2人	2人	2人	6人	
お試し暮らし	-	-	-	-	8組	14組	18組
	-	-	-	-	10人	26人	26人

■新聞記事

2012年（平成24年）5月31日（木）

北海道新聞 朝刊 ぴらの欄

昨年度の移住者 7人

富良野市移住促進協が総会

【富良野】市移住促進協議会（会長・能登芳昭市長）の本年度総会が25日、市役所で開かれ、昨年度の移住者は6組7人だったことなどが報告された。協議会は2009年に設立され、市やJAふらのなどの7団体と、27の会員事業所で

構成。昨年度の実績報告では、東京、大阪でPR活動を実施し、2力所で計86組が来場した。また、市役所に設置されている相談窓口に寄せられた移住相談は214件で、昨年度比19件増加した。このほか、市内での移住体

験事業「お試し暮らし住宅」の利用は18組39人で、同6組18人増加した。（小林健太郎）

昨年度の完全移住者は6組7人
ふらの市移住促進協議会で総会



ふらの市の移住促進協議会（能登芳昭市長）は総会を5月25日、富良野市役所大会議室で開き、平成23年度の事業報告と24年度の事業計画などを決めた。写真

真 同協議会は平成21年に設立され、民間団体と市が連携・協力し富良野市への移住の促進を行っており、23年度の移住者数（完全移住）は6組7人だった。また移住相談件数は前年度を上回る214件に上った。

同協議会は市、商工会議所、ふらの観光協会、ふらの農業協同組合、山部商工会、富良野建設協会など7団体が構成し、会員は27

平成23年度の事業報告によると、9月に東京都で開かれた北海道暮らし・フェアの富良野ブースの来場者数は53組、10月に大阪で開かれた同フェアでは38組だった。ふらの移住体験事業（お試し暮らし住宅）の利用は18組39人。内訳は弥生住宅が7組12人、東山住宅1号が4組11人、同2号が6組14人、山部住宅が1組2人。3月に行われた移住体験モニターツアー1では5組7人が参加した。平成24年度の事業計画によると、移住促進に係るPR活動として大阪と東京で開かれる「北海道暮らしフェア」に参加するほか、移住体験モニターツアーの企画・実施、ふらの移住体験事業、着地型・体験型観光から長期滞在・移住へとつながる取り組み、講演会の開催、移住者ネットワークの構築とサポート体制の確立などを行う。事業予算は114万4000円。

平成24年(2012年)12月20日(木)

産経新聞大阪市内版(朝刊)

富良野移住体験モニターツアー「素のーライフ in ぶらの2013」告知

富良野市移住体験モニターツアー

素のーライフ in ぶらの2013

期間:平成25年2月27日から3泊4日

富良野に移住や二地域居住を考えている方大募集。
冬の生活体験を通じて富良野の冬を感じてください。

詳細・お問い合わせ **ぶらの市移住促進協議会**

事務局:富良野市税務部企画振興課企画振興係 担当/高見 HP <http://www.iju.furano.jp/>
TEL:0167-39-2304 FAX:0167-23-2121 e-mail:info@iju.furano.jp
〒076-8555 北海道富良野市弥生町1番1号

2013年(平成25年)2月1日(金)
北海道新聞「移住促進フォーラム」

5日移住促進の講演

【富良野】市移住促進協議会は5日午後3時から、文化会館で「移住促進フォーラム」都市から地方へ！」を開く。

長野県佐久市在住で移住希望者と地元のパイプ役として活動している福田英二さんが、移住促進と空き家対策を組み合わせた取り組みについて語る。入場無料。問い合わせは市企画振興課 ☎39・2304へ。

2013年(平成25年)2月5日(火)

日刊富良野

きょう修任促進 フォーラム開く

ふらの市移住促進委員
会会長の三宅住良氏
フォーラムは都市から
尾方へ」がきょう(日)
午後3時から、富良野
文化会館で開催される。
同協会は平成21年
度、民間主体と市が連
携して設立された。各
都府県に所在している移
住促進者に対し、富良
野市の魅力や生活状況
についてPR活動を行

い、移住の第一歩をサ
ポートする活動を実施
している。

講師は岐阜エフスアイ
ル経営代表取締役で
富良野市移住、交
流推進委員の坂川英二
氏。日本100を定年退
職後、これまでの経験
から住むといと人生設計
に因するアドバイスを
行う「ハウジングサイ
ンソランナ」認定業
者として活躍。2011
年から長野県安久市
の移住・交流推進員で
地元と移住希望者のハ
イプ役として尽力して
いる。入場は無料。

第27号 平成24(2012)年6月15日(金)

移住協通信

ふらの市移住促進協議会事務局

〒076-8555
北海道富良野市弥生町1番1号 富良野市企画振興課内
TEL:0167-39-2304 FAX:0167-23-2121
E-mail:info@iju.furano.ne.jp



平成24年度 ふらの市移住促進協議会総会開催

ふらの市移住促進協議会平成23年度総会が、平成24年5月25日(金)午後1時30分より、富良野市役所大会議室において開催されました。



当日は、能登会長(富良野市長)より、平成23年度移住相談件数が214件、完全移住者が6組7名で、平成18年度以降の実績をみると49組93名の方が富良野市に移住している。また、移住相談窓口を経由しない移住者を含めるともっと多くの方が富良野市に移住している状況である。今後もさらなる移住促進につながる事業を行っていく必要があるとの挨拶がありました。

続いて、平成23年度事業・収支決算及び平成24年度事業計画・収支予算(案)について審議し承認をいただきました。

平成24年度 負担金

総会の終了に伴いまして、ふらの市移住促進協議会の平成24年度負担金の請求書をご送付させていただきますので、6月28日(木)までに納入いただきますようお願いいたします。

作業チームメンバーを募集します

移住促進に向けて機動力・行動力があり、積極的に活動する事が可能な各事業所の中堅若手などで構成された「移住促進作業チーム」のメンバーを募集しております。

富良野市への移住促進に向けて、より実効性の高い事業を行うために作業チームで会合を行い、企画立案～実践するまでの一連の取り組みを行っております。

当作業チームに参加していただける方は事務局までご連絡下さい。

移住予定者との交流会を開催しました!

富良野市において実施している「富良野市お試し暮らし住宅」が、6月に入り4棟全ての住宅に入居されることになり、入居者とふらの市移住促進協議会との交流の場としてパークゴルフ大会を開催しました。

現在、東山住宅1号に東京都から入居されている方、東山住宅2号に千葉県から入居されているご家族、そして、移住協作業チームメンバー・市企画振興課など、総勢10名で交流を行いました。また、終了後太陽の里ふれあいの家で昼食会も開催し、意見交換も行ってきました。

昼食会では、お試し住宅入居者の方が摘果メロンの漬物に興味をもたれ、是非、自分でも作りたいとレシピを持って帰られた方もいらっしゃいました。

今後も、様々な手法を取り入れながら、移入者との交流会を行い、富良野らしいライフスタイルのPRなど行っていきたいと思いますので、ご協力をお願いいたします。

第28号 平成24(2012)年8月22日(水)

移住協通信

ふらの市移住促進協議会事務局

〒076-8555
北海道富良野市弥生町1番1号 富良野市企画振興課内
TEL:0167-39-2304 FAX:0167-23-2121
E-mail:info@iju.furano.ne.jp



第2回移住促進作業チーム開催

2012年8月21日(火) 市役所第1会議室にて、第2回移住促進作業チームを開催しました。今回の作業チームでは、「北海道暮らしフェア inJAPAN について」「移住サポーター制度について」などの議論を行いました。

これまでの移住相談の中で、移住希望者の不安は、住宅や就業だけではなく、地域での生活環境や地域住民とのお付き合い(コミュニティ活動)なども多くあります。移住サポーター制度では、移住実践者や地元住民の方に「移住サポーター」として登録をしていただき、実際の体験談や富良野暮らしのコツなど、生活目線で相談できる人・場所を提供するものにしていただいています。移住希望者が富良野への移住に向け、新たな1歩を踏み出していただくための制度として検討を進めたいと思います。今後、会員のみなさまに移住サポーター制度の趣旨・概要を提案し、サポーターとして活動していただける方を募集したいと考えていますので、ご協力をお願いいたします。

●北海道暮らしフェア 開催日程が決定! ●

2012年度の「北海道暮らしフェア」の開催日程が決定しました。

富良野市では、今年度の総会において承認をいただいた、首都圏等プロモーション活動として、東京都及び大阪府で開催される「北海道暮らしフェア」2会場にそれぞれ職員を派遣し、相談ブースを設置・出展していきます。

そこで、移住促進協議会の会員のみなさまから、北海道暮らしフェア(東京・大阪会場)への参加者を募集させていただきます。富良野市の相談ブースにおいて、移住プロモーション・移住相談など、参加・ご協力をいただける方は、事務局までご連絡をお願いいたします。

※今年度についても、ふらの市移住促進協議会より、旅費の助成があります。参加希望が多数の場合は、予算の範囲内で調整をさせていただきますが、希望・ご不明な点等ありましたら事務局までお問い合わせください。

◎北海道暮らしフェア 大阪会場

日 時：2012年9月30日(日) 10:00~16:30
場 所：大阪マーチャングイズ・マート(OMM) 2F・Aホール
※昨年度来場者数 1,200人(うち富良野ブース来場者33組)

◎北海道暮らしフェア 東京会場

日 時：2012年11月10日(土) 10:00~16:30
場 所：秋葉原UDXアキバ・スクエア 2F屋内スペース
※昨年度来場者数 1,900人(うち富良野ブース来場者53組) 昨年度2日間開催

移住促進フォーラム テーマ募集!

2012年度において開催する「移住促進フォーラム」についてテーマを募集いたします。

昨年度の講演会では、富良野市の魅力を最大限に活かし、空家や賃貸住宅等を利用した「二地域居住」の推進の可能性、移住者が求める生活環境を把握し、ニーズに合った状況づくりの可能性など、移住者の住宅ニーズや生活ニーズを知り、移住・定住そして地域活性化につながる取り組みを展開するため、「富良野らしいライフスタイルと移住・定住」をテーマに講演会を開催して来ました。

今年度の開催日程については、今後作業チームにおいて議論を行ってまいります。テーマにつきまして、会員のみなさまからのご提案をいただきたいと思っておりますので、こんな講演を聞いてみたいなど、何かございましたら、事務局までご連絡をお願いいたします。



移住体験モニターツアー 企画募集!

2012年度において開催する「移住体験モニターツアー」についての企画(案)を募集いたします。

これまで、富良野の冬の生活を体験していただき、富良野への移住を促進するため、毎年2月下旬から3月中旬にかけ4泊5日の日程で「移住体験モニターツアー」を開催してきました。しかし、一昨年よりツアー参加者が減少し、定員を大きく下回る状況が続いています。

今回、今年度のツアーのみならず、来年度以降に開催するモニターツアーに向け、開催時期・開催内容について見直しを行いたいと考えています。「日程を短縮し、若年層が参加しやすいツアーにする」など、どんなことでも構いません。みなさまからのご提案をお願いいたします。



平成24年度 負担金

平成24年度負担金につきまして、納付のお願いをさせていただいているところですが、まだ納入いただけていない会員様につきましては、至急納入いただきますようお願いいたします。

第29号 平成25(2013)年1月16日(金)

移住協通信

ふらの市移住促進協議会事務局

〒076-8555
北海道富良野市弥生町1番1号 富良野市企画振興課内
TEL:0167-39-2304 FAX:0167-23-2121
E-mail:info@iju.furano.ne.jp



移住促進フォーラム ～都市から地方へ！～

平成25年2月5日(火) 午後3時～5時
午後2時30分 開場
富良野文化会館2階 中会議室

地方都市における人口減少と少子高齢化は、地域経済の低迷や町内会・各種団体活動の担い手不足など、大きな課題となっています。地方都市では、これらの課題を解決するための手法として、移住促進事業を実施しています。

富良野市においても、平成21年度に民間団体と市が協働した「ふらの市移住促進協議会」を設立し、首都圏に潜在している移住希望者に対し、富良野市の魅力や生活状況についてPR活動を行い、移住の第一歩をサポートする活動を実施しています。

現在、首都圏を中心とする都市部では、年金生活者が田舎暮らしに憧れを持ち、マイホームを賃貸して収入を得ながら、地方都市で生活する新しいライフスタイルが注目されています。一方地方都市では、人口減少や高齢化などにより「空き家」が目立つようになり、各自治体では空き家対策を検討している状況となっています。

今回のフォーラムの中では、移住促進事業と空き家対策をマッチングさせた新たなシステムについて、全国のモデル的事業展開の可能性について講演していただく予定ですので、会員のみならずの多くのご参加をお願いいたします。

(なお、全体の参加人数把握のため、出席される方につきましては、事前に事務局39-2304までご連絡をお願いいたします。)

移住促進フォーラム
～都市から地方へ！～

地方都市における人口減少と少子高齢化は、地域経済の低迷や町内会・各種団体活動の担い手不足など、大きな課題となっています。地方都市では、これらの課題を解決するための手法として、移住促進事業を実施しています。

富良野市においても、平成21年度に民間団体と市が協働した「ふらの市移住促進協議会」を設立し、首都圏に潜在している移住希望者に対し富良野市の魅力や生活状況についてPR活動を行い、移住の第一歩をサポートする活動を実施しています。

＜フォーラムの概要＞
首都圏を中心とする都市部では、年金生活者が田舎暮らしに憧れを持ち、マイホームを賃貸して収入を得ながら、地方都市で生活する新しいライフスタイルが注目されています。地方都市では、人口減少や高齢化などにより「空き家」が目立つようになり、各自治体では空き家対策を検討している状況となっています。

フォーラムの中では、移住促進事業と空き家対策をマッチングさせた新たなシステムについて、全国のモデル的事業展開の可能性について講演いただく予定です。

平成25年
2月5日(火)
午後3時～5時
午後2時30分開場
富良野文化会館
2階 中会議室

講師
兼工フスタイル経営
代表取締役 福田 英二氏
(長野県佐久市移住・交流推進員)

【経歴】
富良野市出身
2007年に日本生衛を志す退職後、これまでの経験から住まいと人との関わりをテーマに「ふらの市」のワンストップサービス「空き家対策」認定講師として活躍。2012年より富良野市移住促進協議会・交流推進員として地方と移住希望者のパイプ役となるべく活動中。
現在、国土交通省や一般社団法人移住・住みかえ支援機構と連携し「空き家」を「マイホーム」へ生まれ変わらせ、活用するための移住促進事業と空き家対策を推進中。
高齢化に伴う移住促進事業を推進中。

入場無料

主催：ふらの市移住促進協議会
後援：富良野市 富良野商工会議所 ふらの農業協同組合 ふらの観光協会
山部商工会 富良野建設業協会 北海道宅地建物取引業協会旭川支部富良野分区分

北海道暮らしフェア

北海道への移住や生活体験「ちょっと暮らし」を、道外の方々へ向けてPRするイベント、『北海道暮らしフェア2012』が開催され、富良野市として9月30日に開催された大阪会場と11月10日に開催された東京会場の2会場に出展してきました。

富良野ブースには、幅広い年齢層のお客様がお越しになられ、仕事・住居に関する相談を中心に、富良野の風土・お試し暮らし住宅・生活体験モニターツアーなどについて相談がありました。また、最近の傾向として、完全移住ではなく二地域居住・シーズンステイに対応した住居に関する相談が多く寄せられました。

大阪会場

来場者数：550人（主催者発表）

富良野市のブース：28組

※今年度、台風直撃により参加者が激減・・・



東京会場

来場者数：1,300人（主催者発表）

富良野市のブース：37組

移住体験モニターツアー開催します！

現在、平成25年2月27日（水）～3月2日（土）の期間に、富良野での冬の生活を体験していただく移住体験モニターツアー「素のーライフ in 富らの2013」に参加される方を募集しています。募集要項などの詳細については、富らの市移住促進協議会のホームページ（<http://www.iiu.furano.jp/f-tour.html>）をご覧ください。

ふらの市移住促進協議会 事務局

〒076-8555 富良野市弥生町1番1号 富良野市企画振興課内
TEL 0167-39-2304 FAX 0167-23-2121